

波頭を越えて

竹島レポート

第2部 ⑤

「君は独島が日本の領土だと思ってるのか」

韓国の嘉泉医科大学で6年間英語講師を務めていた米国人、ゲーリー・ビーバースさん(51)は昨年11月、学長室に呼ばれ、「嘘、半分の真実と独島ビデオ」と題した自身のインターネットへの書き込みを印刷した紙を見せられ、こう尋ねられた。

「そうです」と答えると、学長は「『人間性・奉仕・愛国心』をモットーとする本学に、こういう講師はふさわしくない、とこの声がある」と言い、「もう書くな」と指示した。折しも、大学が雇用契約の継続を一年ごとの再雇用の地元紙にも投稿し、「日本

に切り替える」と通知してきた時期。「もう書きません」と誓ったが翌月、再雇用はしないと告げられた。

学部長からは「君は評価が高いから心配ないよ」とお墨付きをもらっていた。学部長から「解雇は独島問題が原因だ」と思う」と打ち明けられた。ビーバースさんは納得できず、「言論の自由を規制し、別の意見を持つ者を罰する」ととが愛国心なのか」と抗議したが、決定は変わらなかった。

韓国でこの「解雇事件」を取り上げたマスコミは「社だけ。ビーバースさんは島根県の地元紙にも投稿し、「日本

米国人講師の闘い

はもって世界へ主張すべき(島)問題は今後も調べ続けた」と訴えた。中断していた書き込みも再開した。

海軍にいた際に韓国を訪れて以来、通訳などとして韓国で働いてきたビーバースさんは「独島は韓国領」という韓国の主張をそのまま信じていたが、竹島(韓国名・独島)に達して

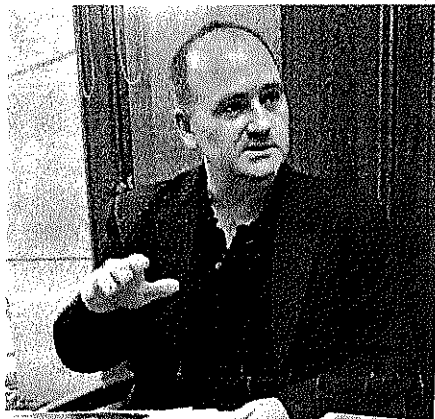
「独島問題に関心を持ったのは、島根県が『竹島の日』条約を再び英語講師の職を得た。『私は専門家でも何でもありませんが、竹島(韓国名・独島)に達して

例を制定した反動で、韓国内で反日感情がピークに達しているが、竹島(韓国名・独島)に達して

丹念に史料を読み込むうち、ふと気づいた。「1905年以前の韓国のどの文獻・地図にも、独島を示すものがない」。議論を交わしたという思い、オーストラリア人が開設している英語のブログに昨年8月から私見を書き込み始めた。

日本の竹島の領有権主張は、韓国では「再侵略」と表現される。1910年の日韓併合の5年前に日本が領土編入を告示した竹島は、植民地化の「最初の犠牲の地」とされる象徴的存在だからだ。日本に対する強烈な反発と国を挙げた「独島を守れ」の大会では、この歴史的背景に負うところが大きい。

「麻薬捜査」と言うが、身体検査も所持品検査もなかった。長年韓国で暮らしているが、こんなことは初めてだ。あなたも気づいた方がよい。思わず息をのみ、周囲に人の気配を探した。



大学かなと相手を話さず、私を相手にするはずはない」と話した。韓国は「人間性・奉仕・愛国心」をモットーとする本学に、こういう講師はふさわしくない、とこの声がある」と言い、「もう書くな」と指示した。折しも、大学が雇用契約の継続を一年ごとの再雇用の地元紙にも投稿し、「日本

日本の領土」と主張し解雇

「史料を少し調べれば、すぐに竹島は日本の領土だと分かる。韓国の学者も99.99%は日本領だと思ってるはずだ。でも、そんな発言をする

日本の竹島の領有権主張は、韓国では「再侵略」と表現される。1910年の日韓併合の5年前に日本が領土編入を告示した竹島は、植民地化の「最初の犠牲の地」とされる象徴的存在だからだ。日本に対する強烈な反発と国を挙げた「独島を守れ」の大会では、この歴史的背景に負うところが大きい。

「麻薬捜査」と言うが、身体検査も所持品検査もなかった。長年韓国で暮らしているが、こんなことは初めてだ。あなたも気づいた方がよい。思わず息をのみ、周囲に人の気配を探した。

取材を終えて別れた約1分後、ビーバースさんから電話が入った。「あなたと別れて30秒後、国の情報機関の人物から名前と住所、勤務先を聞かれた。何のためかと聞く

20日付朝刊で「グラフ波頭を越えて」韓国編」を掲載します。

2部おわりの(竹島問題取材班)